



北九州市で採れる野菜や農業を もっと身近なものに！

給食協会では食育（地産地消）の一環として、北九州市の農業や学校給食に対する理解を深めてもらうため、収穫体験や交流会をおこなっています。

今回は、令和8年1月23日（金）に若松区の小石小学校5・6年生36名を対象に実施しました。



生産者の松浦剛さん

学校給食応援団のおひとりです

収穫体験

若松区有毛の松浦さんの畑でだいこんの収穫体験をさせていただきました。



収穫方法を教えてもらって、いざ、収穫！！

どれにしようかな？
ぼくの家は大家族だから大きい
だいこんを見つけよう！ 私は少
し小さめのだいこんにしよう！



大きくて立派なだいこんだね。おでんに入れたら、きっとほくほくして、おいしいよね。



交流会

学校へ戻り、松浦さんと農林課の担当者から農業や北九州市で採れる野菜について話を聞きました。その後、参加者の皆さんと一緒に給食をいただきました。



季節や風土にあった野菜作りのことなどについて学びました。北九州市で採れる野菜についてもたくさん紹介してもらいました。児童からは野菜づくりについての質問が多く出されました。



今日の「ふゆやさいのポトフ」には、若松で採れた「だいこん」が入っているよ！



ふゆやさいのポトフ

